

それでも前へ!

年明け学級だより 第2弾!

菅山タイムの後半戦 Part1 「プログラミング学習」に挑戦!!

6年生は今年度、総合的な学習の時間「菅山タイム」では、『菅山のすごさを大発見!～人・もの・ことから学ぶ～』というテーマのもと学習を進めてきました。そのため、前半は地域探訪と関連付けながら、菅山区の伝統的な「西山寺」「一番神社」「機械堀り碑」「三枚碑」「油田の里」「隋臨時」「大聖寺」「鉦山神社」といった「もの・こと」に焦点を大きく当ててきました。ラストは、主に「人から学ぶ」に焦点を当て、その道を究めている人・プロ・達人から教わる体験学習を充実させていきたいと考えました。

12月14日と16日にPart1として、マキノハラゴさんをお招きし、子供たちは「プログラミング学習」に挑戦しました。時代は大きく変わりました。私たちが小学生の時にはなかった・考えられなかった学習です。今、世の中には、人が通ると自動で明かりが点いたり、暗くなったら自動で点灯したりする照明があります。また、車には物に近づきすぎたら音が鳴るセンサーが取り付けられています。これらは、ある条件に達したら、そうなるように全てプログラムされているのです。私たちが普段お世話になっているものは誰かがつくり、そして出来上がったものです。今回は、そのプログラムする側に回り、自分たちでその仕組みをつくり出すこと(「物を回転させた時どちらが上か指し示すようにすること」や「明るい時は消えていて暗くなったら明かりが点くようにすること」)に挑戦しました。子供たちは、まずは自身で考え、難しければ仲間と対話しながら頑張っていました。子供は、呑み込みが早く、私には正直、ついていけない世界でした。(笑)

